

講義名称	保育の心理学Ⅱ	担当教員名	成田 小百合
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の対象の理解 (UC) 選択必修	単 位	1
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	CMUC1113

授業のキーワード	子ども 心理学 保育における発達援助
授業の概要	子どもの心身の状態や発達を把握するための技術を高め、保育の具体的な場面で、個と集団の育ちを踏まえ、より質の高い子どもの発達援助について学習する。
期待される学習成果 (目標)	保育場面における心理学知見に基づいた発達援助の方法を習得する。

授業展開

回	テーマ	内 容
1	保育実践における発達援助 (1)	基本的な生活習慣の発達と援助
2	保育実践における発達援助 (2)	主体性の発達と援助
3	保育実践における発達援助 (3)	乳幼児期の発達課題と援助
4	発達の理解から保育実践へ (1)	子ども理解・発達アセスメント
5	発達の理解から保育実践へ (2)	個人差と発達過程
6	発達の理解から保育実践へ (3)	保育・教育現場における学習環境
7	生活や遊びをとおした学び (1)	生活の中での言語習得過程
8	生活や遊びをとおした学び (2)	生活の中で学ぶしくみ
9	生活や遊びをとおした学び (3)	遊びの中で学ぶしくみ
10	人間関係の広がりと言語スキル (1)	ソーシャルスキルとは
11	人間関係の広がりと言語スキル (2)	ソーシャルスキルの習得を促す働きかけ
12	特別な支援を要する子どもと家族 (1)	特別なニーズのある子どもとは？
13	特別な支援を要する子どもと家族 (2)	乳幼児期の親子関係と発達支援
14	特別な支援を要する子どもと家族 (3)	現代社会の変化と発達援助
15	まとめ	総まとめワーク

定期試験	保育の心理学に関する基礎知識を問う定期試験を実施する
授業時間外学習	予習 2 時間 復習 2 時間
評価方法	授業時の小レポート (20%)、定期試験 (80%)
使用する教科書 (必ず購入してください)	なし。適宜資料を配布する。
参考文献	適宜、書籍を紹介する。